



今月のテーマ



楽しい「どうぶつしょうぎ」プログラム

「あだち放課後子ども教室」では、地域のボランティアや各校のスタッフによる工作や卓球などの体験プログラムの他、企業や団体と連携して行う体験プログラムがあります。今回は、団体と連携したプログラムの中から、「どうぶつしょうぎ」を紹介します。

●「どうぶつしょうぎ」とは？

3×4マスの盤で、ライオンやゾウが描かれた8個の駒で対戦する、将棋のルールを簡略化したゲーム。各動物の駒に、進める方向を示す印がついていて、基本的なルールを学べば低学年でもすぐに楽しく遊べます。対局相手のライオンをつかまえるか、自分のライオンが相手のエリアに入ったら勝ち。8個の駒のゲームでも奥が深く、子どもたちも夢中で遊んでいます。



「どうぶつしょうぎ」の盤と駒

●ある日の放課後の真剣勝負

「はじめるときは、キリンやゾウの駒がライオンの方を向くように並べます」「はじめと終わりの挨拶をきちんとしようね」。

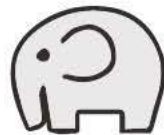
この日は「どうぶつしょうぎ」の普及団体の代表で、どうぶつのイラストも担当している藤田麻衣子先生が、子どもたちに「どうぶつしょうぎ」をわかりやすく解説。10分程度のルールの説明の後、子どもたちは対局を楽しんでいました。「また負けちゃったよ」「先生に勝ったよ!」。勝負がつくと、すぐに次の対局に移る子どもたちの表情は真剣そのもの。あちこちで「ミニ棋士」が、頭をフル回転させてがんばっていました。



藤田先生からルール説明



次の一手を考え中



公社では、放課後の子どもたちの体験・交流活動を広げるため、各放課後子ども教室で定期的に、様々な体験プログラムを実施できるようサポートしています。



スタッフを募集している放課後子ども教室があります。

スタッフは、各学校の実行委員会から選任された地域の協力者です。児童の受け付けや安全のための見守りなど、子どもたちの活動を支えています。詳しくはお問い合わせください。 放課後子ども教室担当 ☎5813-3732 平日 午前9時～午後5時